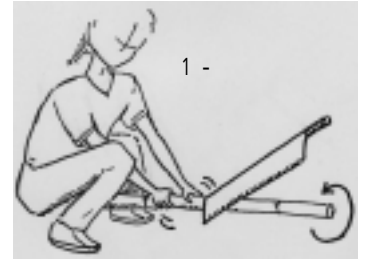
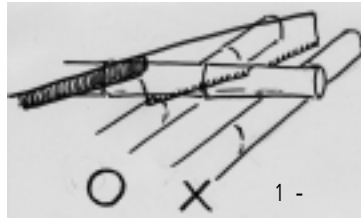


# 今回のポイント

道具の使い方・・・今回はいろんな道具を使いました。  
道具によって、気をつけなければならないこといっぱいあるんだよ。

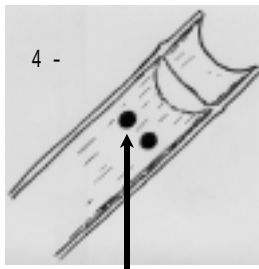
## 道具を使うときの注意事項

- 1 **ノコギリ**を使って竹を伐るときに気をつけること  
刃のあたっている所がしまってくるので支える板は切り目の手前におく  
押さえる人が回していくと伐りやすくなる
- 2 **クモデ**を使って竹を割るときに気をつけること  
クモデは鋳型なのでたたくと割れます。直接たたかずに竹をたたきましょう  
クモデがかんだら反対に向けてたたきつけながら下に押す
- 3 **ナタ**を使うときに気をつけること  
ナタの刃を下からあてて、竹とナタと一緒に下に落とす  
ナタが入ったら反対に向けて落とす

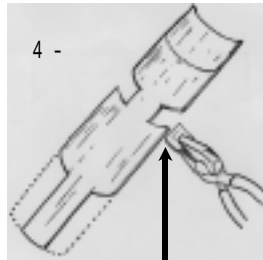
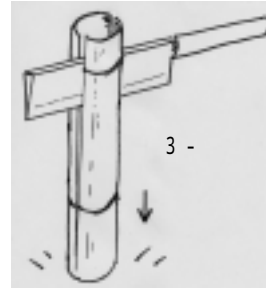
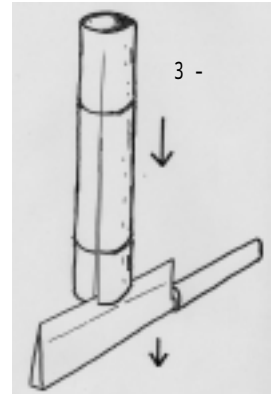
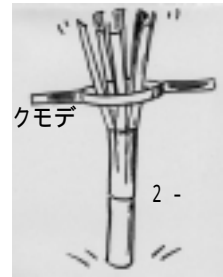
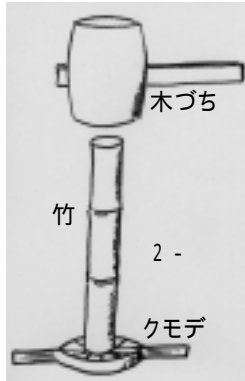


## 4 音工作(電気ドリル、キリ、ペンチの使い方)

2人1組で行う。電気ドリルを回さない状態でキリ穴にあててから回し、貫通したら穴のうしろのささくれをとる(気にせずめくる)ノコ線より内側にナタが入ると節までたてにさけてしまう。その場合手前でやめてノコ線をたす



キリで印穴をあける。その部分に電気ドリルをあててあける



ノコギリできり目を入れてペンチでおとす



おまけ:リーダー&スタッフ一同

## 参加者の声

1日目は夜の森でねながら空の星を見ながら森の声を聞きました。夏の大三角形が見えました。2日目はひるの声とよるの声をみんなでききくらべしました。がっき作りははじめて竹でこうさくをしました。とっても楽しかったです。

この2日間は、大好きな昆虫や生き物のことがやれておもしろかった。昼にはナナフシやセミが、夜にはタイコウチやメダカなどがかんさつできて、かなり勉強になった。同じ場所でも昼と夜でいる生き物や音がちがって、少し不思議な気持ちでした。また、この青少年公園にはまだまだたくさんの自然が残っていて、いつまでもこの自然がたえないようにしてほしいと思った。

1日目は食器作りをして、かんたんにおわんができた。とてもうれしかった。夜、音と星を聞いて見た時、セミとかの音も少しはきれいだなーと思っし、星も山の方がきれいだった。音具作りはなたとかのこぎりを使ってむずかしかったけどとってもおもしろい音具ができてうれしかった。

食器作りのときにナイフで切るのがむずかしかった。

がっき作りは、ガラガラとなるとき、すごーうれしかった。足でならずがっきなんてはじめてだからすごくおもしろかった。

ゆのみを作ったら、どんぶりになった。(びっくり!)

泊2日の体験をしてよかった。おわんづくりもできてよかった。大きいおたまじゃくしやザリガニを見た時はびっくりした。

竹で器を作ったり、はしを作ったり、音具を作ったりしてとてもたのしかった。でも音を聞きに行く時歩くのがとてもつづつした。2日目の朝にへびをさわったらとてもつづつしていた。

発行元: (財)2005年日本国際博覧会協会 市民参加促進グループ 編集責任者: 小林 寛司  
〒450-0002 名古屋市南中村区名駅3-15-1 名古屋ダイヤビルディング2号館4階  
TEL 052-569-2101 FAX: 052-569-2100

